

研究課題 (テーマ)		看護における「怒り」の概念分析	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	看護学部看護学科	講師	杉山由香里
	看護学部看護学科	教授	田中いずみ
	看護学部看護学科	助教	浜多美奈子
	看護学部看護学科	助教	遠田大輔
研究結果の概要			
<p><研究目的> 本研究の目的は、看護における「怒り」の概念がもつ特性を明らかにすることである。</p> <p><結果> 文献データベース（医学中央雑誌、CiNNi、J-STAGE）を使用し、「怒り」「看護」「患者」をキーワードとして文献検索を行った。389件が検索され、それらのタイトルと抄録を読み、整理したところ研究テーマと合致する文献が34件となった。さらに精読し、分析に使用するデータを検討し、15件の論文を選定した。</p> <p>それらの文献をRodgersの概念分析アプローチ法により、先行要件、属性、帰結を抽出した。まだデータが不十分であり、看護における「怒り」を定義づけることはできないが、これまでの分析では、看護で扱う「怒り」には疾病や入院などの環境の影響があり、患者自身が本来もっている「怒り」への適応能力が十分に発揮できず、適切に怒りへの対処ができなくなっているという傾向がみられた。つまり、健康な人との「怒り」への適応と異なる特徴があり、今後、看護ケア場面での「怒り」の特徴を理解したうえで、看護ケアへ活用していく必要があると考えられた。</p>			
今後の展開			
<p>患者が怒りを表現している現象に対して記述している論文が少なく、分析を深めるにあたり十分なデータが得られていない。今後、文献検索範囲を再検討し、データ収集および分析を継続していく予定である。</p>			